個人成果報告

河上碧

C3　チームにんじん戦線

**6月WEBアプリ開発コースを経て成長したこと**

＜課題＞

①5月末の名刺管理アプリは、サンプルコードがあったため自分で０からコードを書くという経験がなく応用という点ができていない

・実際に講師の方からの5月のフィードバックの課題点であり、チャレンジ性やプログラミングの中身という評価項目が3/5だった

②会話を切り出したり、発言したりすることに抵抗がある

・自分のせいでチームの雰囲気を壊してしまうことを考えてしまう

・自分の発言や質問が的外れだった場合いたたまれない気持ちになってしまう

＜解決策と成長点＞  
①「自分の作業内容を終わらせるため」という目的を考え、自力で考え悩むよりも講師の方やチームメンバーに躊躇なく質問をするべきだと考えた

・講師の方に質問を行い、自分でできる範囲を増やしていくことができた

・プログラムのエラーが出た時も最初は講師の方に0から質問をし、デバッグを教えてもらい、突き止めた原因からここまで考えたがわからない、というようにどこまで自分が理解できたのかを伝え、続きを教えてもらうということを繰り返した

②自分の意見を言えないことについて悩む時間が無駄であると感じるようにした

・発言しなかったことで、自分が後悔してしまうことや、周りに聞くことで、同調意見やより良い意見、対立意見など自分には考え付かない良い意見が聞けることがあったから

**5月を終えたころに感じた課題**

＜名刺管理アプリを終えての課題＞  
①名刺管理アプリで実装したい機能が多かったが、時間内にすべて終わらせることができなかった

・実装したい機能の取捨選択や優先順位をつけることができなかった

＜６月のチーム演習での取り組み＞

①チームで機能をつける時や、開発の途中で、この機能をつけるより優先するべき機能がある、という話し合いをして取捨選択した

・具体的には、プロフィール画像をアップロードする機能と、POMEの目標達成時のポイント機能のどちらを取り組むか、という時にチームに相談しポイント機能に取り組むことができた

**6月の各フェイズで感じたこと**

＜要件定義・外部設計・内部設計＞

＊大切だと思ったこと

・自分の作業内容を共有すること

→各々が違う作業をしている中で、今誰が何の作業をしている時間なのか、ということを全員で認識できていない時があったから

＊取り組んだこと

・今からやることや変更点を言葉やSlackで共有

・やることが分からないときは積極的に質問する

・共有できるドキュメントを使う（Googleドキュメントやスプレッドシート）

＜実装工程＞

＊大切だと思ったこと  
・作業内容に優先順位をつけての判断

→「システムを期限内に完成させる」ための行動かどうかを考え判断する

＊取り組んだこと

・自分の作業量を把握し、Slackにメモ

・その中で、優先度に迷った部分はチームメンバーに相談

7月以降の目標

①配属後は、質問や相談のタイミングを考えて内容を整理して、質問できるように

・躊躇なく質問や相談が行えるようになったからこそ、配属後は自分だけに時間を割いてくれるわけでも、いつでも質問できる環境ではないことを踏まえて、自分の状況がどうしたらいいかわからないときに聞きたいことを整理して聞けるようになる

②迷惑をかけて怒られるのは仕方ない、少しでも楽しんで臨めるように何事もやってみる

・1年目は分からないことやできないことが多いからこそ、プログラミングのように、自分のわかる、できる範囲を広げていくという考えが必要だと考えた

・そのため、何事もやってみることで、自分のどうしてもできないこと、努力を重ねればできるようになることがわかるようになりたい